



父母の会 だより



2008年10月25日

第2号

大公開!

役員、委員、係選出方法！ 会長に直撃インタビュー

父母の会執行部では、次年度の役員、委員、係の選出の準備を始める時期になってきました。そこで今日は前年度の執行部役員の経験もあるアーエージェント会長に、現行の役員選出方法について伺ってみました。

聞き手：執行部広報担当 サントスめぐみ

Q:役員、委員、係にはどういうものがあり、それぞれ何人くらい選出されるのでしょうか。

A:「役員というのは執行部役員のことで会長、副会長2名、書記、会計、広報渉外、教育企画2名の8名です。委員は資金調達委員6名、行事委員4名、図書委員7名、広報委員3名、運動会委員6名です。係は各クラスにクラス係を2名、図書係を1名（幼初等部のみ）を選出しています。その他にはバス係がありますが、これは例年バス利用者の保護者の有志で担当していただいています。」

Q:ということは、現在この学校のクラス数が32あり、そのうち幼初等部のクラスが23ありますから、役員8名、委員26名、係に77名、選出したということですね！そんなに多くの人をどうやって選ぶのでしょうか。

A:「まず役員、委員を先に決めます。決め方は、希望者が優先ですが、希望者だけ決まることは殆どないので、あとは家族単位で抽選をします。」

Q:立候補者はどれくらいいるのでしょうか。

A:「残念ながらあまりいません。過去のきちんとしたデータが残されていないのではっきりした数字はわかりませんが、去年は10人程度でした。」

Q:残りは抽選で決めるということですが、それは残りの保護者が全員対象となるのですか。

A:「抽選免除の基準というものがあって全員が抽選対象になるわけではありません。

例えば、これは父母の会規約にも書いてありますが、過去に会長をした人は5年、役員をした人は3年、委員は2年、係は1年の免除期間があります。他にも家庭に補習校の先生がいることだとか、2歳未満の子供がいることなども免除対象になっています。こういった詳細は12月に全保護者に配布される「希望調査票」に載っていて、それらの免除基準に該当する人はチェックできるようになっています。それ以外の理由で免除対象になることを希望する人はその理由を具体的に書くようになっています。」



Q:それ以外の理由というのは例えばどんなことでしょうか。

A:「それは本当に様々で、例えば、土曜日常勤であるとか、家族に病気の者がいるというものや、あと家が遠いとか、運転できないというものまでありました。

これらの理由を全て受け入れていくと抽選対象者数が少なくなり過ぎてしまうの

で、去年は、基準はできるだけ厳しくし、難しい問題を抱えている方が当選した場合には、さらに事情を伺って判断するようにしました。」

Q:そうして振り分けられた抽選対象者は何人くらいになりますか。

A:「去年で約100世帯といったところでしょうか。該当する家族の長子の名前を全てインデックスカードに書き、二つ折りにした状態でひとつの箱にまとめ、会長がそこからランダムに42枚引き、引いた順に当選番号をつけていきます。」

Q:当選者には希望を聞いていくのですか。

A:「はい。まず役員か委員かの希望を聞きます。役員を選ばれる方は、後日、選出された8名で話し合って決めていただきます。委員になってくださる方には、希望を聞き、振り分けていきます。そして役員、委員の34人が決まれば、残りの当選者には次年度の補欠をお願いします。ただ、こうして希望を聞くことによって、選出作業がより大変になっています。去年も当選者になかなか連絡がとれなかったり、連絡がとれても承諾してくださらない方もいて非常に困りました。」

Q:係の選出はどうするのですか。

A:「新学期のクラス編成が決まり次第、各クラスの係希望者と免除者リストをクラス毎に作ります。基本的に希望者を優先しますが、係を希望しても役員、委員の抽選対象にはならないので、先に役員や委員に選出されるという場合もあります。」

Q:係の選出も難航するのでしょうか。

A:「そうですね。現在のクラス係さんに次年度のクラス係選出に当たっていただいています。係の希望者が足りないクラスは該当する家族に依頼していただくのですが、これも大変な作業です。なかなか快く引き受けてくださる方が少ないようで、これまで何年もクラス係をしてきた下さった方からも、クラスの仕事は全然嫌ではないけれどこの仕事だけは辛いという話を聞いたことがあります。」

Q:これで一応、役員、委員、係の選出についての大部分を説明いただいたわけですが、アーjent会長は去年、実際にこの選出方法を行ってみてどう思われましたか。

A:「これも今までの執行部役員がいろいろ試行錯誤をして作ってきた方法だと思いますが、まだまだ改善の余地も大きいと思います。執行部役員の任期が1年なので、選出方法の短所がみえてきた頃にはもうそれを改善する立場にはいないということが現状で、何年も続けてくださる方や兼任を引き受けてくださる方のご

好意に甘える形でなんとか保っているシステムという感がありますね。」

Q:これらに対して現執行部では何か対処方を考えているのでしょうか。

A:「役員、委員、係の仕事内容や選出手順についてのお知らせにもっと力を入れていくということと、できるだけ多くの保護者にとってより公平でかつ円滑な選出方法を考えていくためには、やはり皆様のご意見が必要だということで、選出方法についてのアンケートをとらせていただくことにしました。その結果をもとに改善の糸口を見つけていきたいと考えていますので、是非ご協力ください。」

Q:何か保護者の方へのメッセージはありますか。

A:「私はこれまでクラス係、執行部会計、そして会長をさせてもらいましたが、どの役にもそれぞれの楽しみがあるように思います。確かにたまに、ちょっと今週はきついなあという事もありますが、案外やってみるとできるものだというのも本当ですし、それ以上にやっていることによって自分にエネルギーをいただいていることの方が多い気がします。今年の執行部でもフルタイムで働いている保護者の方が半数を占めますが、できる範囲でよく頑張ってくれています。皆さんもご多忙だとは思いますが、そんなに堅く考えず色々な役にトライして、学校作りに参加することによって得られる様々な楽しみを是非味わっていただきたいと思います。」

ありがとうございました。（サントス）





運動会協賛企業（順不動）：

伊藤園、ONKYO、うつわの館、ミツワ、Mars



お陰様で、今年も素晴らしい運動会を開くことができました。父母の会の活動へのご支援に深く感謝申し上げます。



★ 資金調達委員よりお知らせとお願い ★

秋も深まり朝晩冷え込む日が多くなりました。ハロウィン、サンクスギビング、クリスマスと、イベント続きの季節ですね。

さて、補習校でも2学期には例年バザーが開かれていますが、年度始めに配られた予算案や、行事予定などを見ると分かりますように、今年はバザーが予定されておりません。

昨年度まで皆様からいただく父母会費に加え、各企業様からの寄付金、バザー収益金、年度によっては個人様への寄付をお願いして父母会の活動費として充てられてまいりました。ですが、バザーは労力、時間、人員がかなり必要な割に収益率があまりよくない。生徒へのメリットが少ない。などの

理由から、昨年度の執行部、委員の間で話し合わせ、バザー委員の廃止、そして資金調達委員の新設となりました。

現在、各企業様への寄付依頼の手紙を発送中ですが、皆様の勤務先、又はご存知の会社で寄付をお願いできるようでしたら、父母の会室までお立ち寄りいただきたいと存じます。

補習校に通う子供たちが、豊かで充実した学習環境の中、元気いっぱいの日々を送れるよう父母の会も出来るだけバックアップしていきたいと考えておりますが、それにはなんといっても資金面の充実が重要です。どうぞ保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

資金調達委員長 森下 良子

父母の会免税NPO化の進捗報告

4月の定例父母の会総会や前回の父母の会だよりでも触れました、父母の会の免税NPO化の申請書が8月12日に完成し、依頼していた会計士によりIRS(国税庁)に提出されました。

IRSの審査結果は10月末までには出る見込みです。

なお、この申請書作成時に必要なビジネス文書の作成にあたり、前会長の斉藤宏和さん、今年、運動会委員でも活躍してくださった本木祐子さんにお手伝いをさせていただきました。

ご多忙の中のご尽力、本当にありがとうございました。

補習校にはホームページがあります！

広報委員長 武中 浩一

補習校や父母の会についてこんなことを思ったことは無いですか？

- ・ 校長先生ってどんな顔？
- ・ 補習校がある明日は大雪らしいけど、休みになるのかなあ？
- ・ 昔の「補習校便り」や「えがお」をもう一度読みたいけど、どうすれば？
- ・ 図書室にある本を、家で検索できればなあ？
- ・ 補習校や父母の会の年間行事日程を、あらかじめ分かればなあ？
- ・ この前の運動会で注文したお弁当って、どんなおかずだったっけ？
- ・ スクールバスって、試しに乗ることが出来るの？
- ・ 今年から始まった「父母の会だより」って、何が書いていたっけ？
- ・ そもそも父母の会って、何をするの？

これらの疑問の答えは、すべて補習校のホームページ（HP）に載っています。

そんなお役立ち情報満載のHPの世話をしているのが、広報委員です。学校や父母の会から届いた文章やファイルを、自宅のパソコン（時々は勤め先）からHPに書き込んだり貼り付けたりしています。

ということで、普段はどちらかというとせっぴつまった活動ではないのですが、たまに気が張るときがあります。それは緊急連絡があるときです。もちろんその場合、クラスの電話連絡網でご父兄の方に内容は

伝わります。それと同時に広報委員にも連絡が入り、内容をすぐにHPのトップページに書き込みます。実は今年の6月に、そういうことがありました。

借用校の都合で補習校が半日になることが急に金曜日に決まり、その旨をHPに載せるよう学校から連絡がありました。その日のうちに書き込んだものの、間に合ったのかなあ、みんなHPを見るかなあという気持ちでした。そして迎えた補習校当日の朝、子供を教室まで送り届けてから廊下に貼り出された絵日記を見

ていたときのことで、少し離れたところから「・・・なのでHPを見たら、そこにも半日って書いてあったので、やっぱりそうなんだと思って・・・」という声が聞こえてきました。HPが役立ったと実感した瞬間です。広報委員としてのやりがいを感じました（身内からは、そんな

大げさなと言われましたが、、、）。

新しく補習校に通い始めた方、前から通ってて今さら誰かに聞けないことがある方、単に補習校について知りたい方、まずは試しに補習校HPを見て下さい。URLは、<http://www.hoshuko.org/>です。もし欲しい情報が見つからなかったり、ご意見・ご要望がありましたら、是非父母の会までお寄せ下さい。それらを元に、HPのお役立ち度を上げていきたいと思います。

広報委員一同

